

氏名	ち ぢ いわ まさ つぐ 千 知 岩 正 継	職名	准教授	就任年月	2022年（令和4年）4月
【学歴】	<p>1998年3月 鹿児島大学法文学部法学科 卒業 2000年4月 神戸大学大学院国際協力研究科国際協力政策専攻 博士課程前期 修了 2006年3月 九州大学大学院比較社会文化学府国際社会文化専攻 博士後期課程 単位取得退学</p>				
【取得学位】	<p>修士（法学）</p>				
【職歴】	<p>2006年10月～2007年3月 九州大学高等教育開発推進センター、特任助手 2007年～2021年 北九州市立大学、非常勤講師 2016年～2017年 長崎県立大学、非常勤講師 2019年 九州大学、非常勤講師 2019年～2021年 立命館アジア太平洋大学、非常勤講師 など</p>				
【専門分野】	<p>国際関係論 国際機構論 政治学</p>				
【研究課題】	<p>軍事介入 保護する責任 英国学派の国際関係理論</p>				
【担当科目】	<p>現代社会と政治A、B 政治学 政治史 国際関係論</p>				
【学会・社会活動】	<p>日本国際政治学会 グローバル・ガバナンス学会 日本国際連合学会 東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会、執行委員</p>				

【主な研究業績】

区 分 (単・共別)	著 書 ・ 論 文 名 等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
著 書 (共)	カナダー R2P の「助産師」から「改良主義的実践者」へ	西海洋志、中内政貴、中村長史、小松志朗 [編] 『地域から読み解く「保護する責任」ー普遍的な理念の多様な実践に向けて』 聖学院大学出版会	2023 年 3 月
著 書 (共)	対テロ戦争ー終わりが遠ざかる戦争ー (共著者: 大庭弘継)	高橋良輔、大庭弘継 [編] 『国際政治のモラル・アポリアー戦争/平和と揺らぐ倫理ー』 ナカニシヤ出版	2014 年 5 月
著 書 (共)	国際社会におけるアナーキーとハイアラキー	佐藤誠、大中真、池田丈佑 [編] 『英国学派の国際関係論』 日本経済評論社	2013 年 10 月
著 書 (共)	グローバル社会における国連の秩序構築ー安保理の権威と正当性の問題を中心に	松井康浩 [編] 『グローバル秩序という視点ー規範・歴史・地域ー』 法律文化社	2009 年 4 月
学術論文 (単)	「保護する責任」を司るグローバル権威の正当性ー国連安保理と民主主義国協調ー	『国際政治』第 171 号、日本国際政治学会	2013 年 1 月
学術論文 (単)	リビア紛争に対する保護する責任 (R2P) の適用?	『社会と倫理』第 27 号、南山大学社会倫理研究所	2012 年 10 月
学術論文 (単)	「保護する責任」の意義と課題ー正当性と権威の概念を手がかりにー	『社会と倫理』第 22 号、南山大学社会倫理研究所	2008 年 8 月
学術論文 (単)	人道的介入論の最近の動向とその課題ー「介入する権利」から「保護する責任」へー	『政治研究』第 51 号、九州大学政治研究会	2004 年 3 月
翻 訳 (共)	C.H. アレクサンドロヴィッチ [著] (デイヴィッド・アーミテイジ、ジェニファー・ピッツ [編]) 『グローバル・ヒストリーと国際法』	日本経済評論社	2020 年 12 月
翻 訳 (共)	バリー・ブザン『英国学派入門』	日本経済評論社	2017 年 5 月
翻 訳 (共)	リチャード・シャプコット『国際倫理学』	岩波書店	2012 年 9 月
その他 (単)	(書評) 佐藤史郎『核と被爆者の国際政治学ー核兵器の非人道性と安全保障のはざままで』	『グローバル・ガバナンス』第 9 号、グローバル・ガバナンス学会	2023 年 3 月
その他 (単)	(書評) 本多美樹『国連による経済制裁と人道上の諸問題ー「スマート・サンクション」の模索ー』	『国際政治』第 178 号、日本国際政治学会	2014 年 11 月
その他 (共)	資料で読み解く保護する責任ー関連文書の抄訳と解説ー	大阪大学出版会、電子書籍	2017 年 11 月
その他 (共)	<i>What Constitutes the 'Rightful' Authority' and on What Grounds? The United Nations Security Council versus a Concert of Democracies</i>	<i>Global Ethics after the Responsibility to Protect : Challenges and Dilemmas</i> 南山大学社会倫理研究所	2013 年 2 月